



書名：鹿島平和研究所叢書 国際情勢の分析

『インド・中南米・カナダ・欧州・中央アジア・アフリカ・韓国』

対談：谷野作太郎・元駐インド大使(東芝取締役)

武藤友治・元駐ボンベイ総領事(インド・ビジネス・センター シニア・アドバイザー)、他

発行：勉誠出版

価格：2,940円(税込み)

◇内容

インド、韓国、カナダ、ドイツ、イラン、ナイジェリアの国々に大使として勤務した外交官が、外務省における夫々の国の専門家と組になって、第一線での体験を踏まえ、対話形式で情勢分析を行っている。外交官としてのプロの目で見えた情勢分析は、評論家とか学者からは通常なかなか期待できないものであり傾聴に値しよう

インドの部分は、谷野作太郎・元駐インド大使(東芝取締役)と武藤友治・元駐ボンベイ総領事(当社シニア・アドバイザー)が担当。インドの現状を幅広く分析すると共に、第二次大戦後から最近に至るまでの日印関係を展望することに努力が払われている。インドに関する部分は49頁を占めるに過ぎないが、内容は多岐に亘っており、インドに関心を持たれる向きには、是非とも一読をお薦めしたいところである。

◇目次紹介

まえがき 財団法人鹿島平和研究所 会長 平泉 渉

第1回 インド [谷野作太郎/武藤友治] 第2回 中南米 [寺田輝介/林家栄吉]

第3回 カナダ [田島高志/伊勢茂] 第4回 欧州 [久米那定/妹尾正毅]

第5回 中央アジア [孫崎享/長谷川和年] 第6回 アフリカ [黒河内康/佐藤裕美]

第7回 韓国 [寺田輝介/谷野作太郎]

巻末レジュメ(資料)

その一 インドにおける対日世論調査と日印関係「やっぱり日本が一番好き！」

その二 中国 インド 日本 (中国とインドの経済・社会指標、日中関係と日印関係の比較)

その三 カシ米尔情勢 (紛争地域の地図)

